

【週報】



世界に希望を生み出そう

南相馬ロータリークラブ

例会場 新かとり 南相馬市原町区 4 丁目36
事務局 〒975-0004 福島県南相馬市原町区錦町 6-68-6
Rina ビル2F
TEL:0244-26-7633 FAX0244-26-7634
HP <http://www.minamisoma-rc.org/>
E-mail minamisomarc@white.plala.or.jp



会長 青木謙二 幹事 岡田義則 出席者 9名 43%

2023年8月1日 第4回 通算684回

例会プログラム 開会点鐘/国家斉唱「君が代」/ロータリーソング「奉仕の理想」/「四つのテスト」唱和/会長の時間/会員卓話/
幹事報告/出席報告/スマイルボックス報告/閉会点鐘

会長の時間 会長代理 大谷和年副会長



本日、会長が欠席の為会長の時間の代理を頼まれました。この時間をいただいて、クラブ協議会で発表出来なかった、クラブ運営委員会の年次計画を発表します。
今年度から、プログラム委員会、親睦委員会、出席委員会、スマイルボックス委員会をまとめた新たな委員会として発足しました。内容が多岐にわたることから、円滑な活動ができるよう副委員長を2名選出し、クラブを元気にすることを目標に取り組みますので、ご協力お願いします。

事業計画

- ① 例会プログラム支援、卓話者の選考、移動例会等役員会へ例会案の提出
- ② 親睦事業
ゴルフ大会 :年2 回日曜日実施、オープン型誰でも参加可能 第1 回9月3日(日)宮城野ゴルフクラブ、2 回目4月頃
クリスマス会:12 月 19 日(火)
旅行 :東京ロータリークラブメーキャップに連動
IAC・青少年委員会との合同親睦事業:都度実施
- ③ 例会出席率向上対策
年1回以上会員との対話:出席がない会員の会長訪問同行、月報の作成、出席率の算定基準の確定
- ④ スマイルボックス進捗管理
社会奉仕委員会、会計担当と協議し支出に応じた、スマイル収入の声掛け、スマイルの報告
- ⑤ その他
委員会の開催回数:2か月に1回

幹事報告

- ・RI 日本事務局より「財団室 NEWS8月号」が届いています。
- ・米山記念奨学会より「ハイライトよねやま Vol.280」が届いています。
- ・ガバナー月信7月号が HP からダウンロードできます。

スマイルボックス 合計¥6,000 累計¥33,000

青木正雄 (¥1,000、稲、出穂した。)/大谷和年(¥1,000 暑さに負けず頑張りましょう。)/川崎博祐(¥2,000 玉沢様会員卓話ありがとうございます。)/鶴岡恵子(¥1,000 玉沢会員 卓話楽しみにしています!!)野地庄蔵(¥1,000 暑中おみまい申し上げます)

会員卓話 「玉沢とは!？」 玉沢堅司 会員

2021年8月より小高区(関場1丁目)に移住

・事務所:株式会社つむぎ 小高工房さんの2階(株式会社つむぎを同じ時期に起業)

・1979年11月生まれ 大阪府大阪市出身

・就職活動:コンピュータが大の苦手だったので、敢えてコンピュータ業界へ就職

・コンピュータ業界:20年(エンジニア6年、フリーランス1.5年、管理・経営企画・営業が13年)

・趣味:散歩、グルメ巡り(たまログ作成)

・何故小高へ移住?:①防災・見守りサービス事業をする為

②人口がゼロになったこの街だからこそ、新しい街づくりに関われると思った為

・出来ること:機械が苦手だった為、苦手な人の立場でお伝えする事ができます。

自分にとって険しい方の道を選ぶ

2003年4月株式会社タウ入社(システムベンチャー会社)

➢大学での就職活動において、周りの友人達は、ほとんどが大企業に就職。

➢通常の就職活動で教えられるのは、自己分析時に長所をアピールして臨むことがほとんど

➢幼い頃から、大学での授業まで機械系、徐々に普及しつつあったIT系が本当に大の苦手であったが、

敢えて、その業界(IT業界)を選択。(かつ、大企業ではなく、ベンチャー起業を選定)

大人になることの定義を、自分の中で「苦手なことをこなせないと日本の足で歩いていけない」と定義

2010年1月株式会社F.TRON入社(創業間もない、コンピュータセキュリティのベンチャー会社)

➢前職の先輩から、お声がけ頂いたのが入社のかきかけ。

➢先輩は引き抜きで声を掛けて下さったのではなく、玉沢が経験した技術の相談であった。

➢F.TRONを初めて訪問した際、創業者(女性経営者)も同席。アルバイトのお誘いを受けた。

➢事業:日本発のコンピュータセキュリティ製品の開発、販売/セキュア空間サービスの展開。

➢会社の資金は創業者のポケットマネーで運営。

➢創業者の秘書業務をさせて頂き、多くの大企業経営者、官公庁など、恐らく自分が生きていく中で、出会えないような方達にアプローチが出来、かつ、経営者として日本発のものを世界に発

信することの難しさを経験。

結果として、政治・経済を踏まえ、世の中にないものを

産出すプロセスを経験(大企業にも負けない企業としての在り方、従業員との接し方、人としての在り方、を学ばせて頂きました)

2019年9月株式会社Nen-Dea創業(<https://nen-dea.co.jp/>)

➢株式会社F.TRONの倒産処理を済ませ、従業員の失業手当などを対応しつつ、転職活動を開始。

➢内定を何社か頂戴したが、全て丁重にお断りし、自分自身で会社を創業することに。

(F.TRON時代があまりにも自分の中で濃く、組織に所属して1社のことをするのは出来ないと判断)

➢生活を安定させることも考えたが、40歳を目前にし、自分のターニングポイントと判断。

➢創業者、経営者の背中を見てきた自分にとって、孤独な経営者のお役に立ちたい(もっと何とかしたかった)、

という想いで、経営者・創業者と一緒に汗を掻き、実行支援を行う、株式会社Nen-Deaを創業。

➢現状は株式会社AndWeの実行支援(経営企画、営業)を実施。現在は、実行支援を元に、農業支援を主に実施

(農業+リモートワークの兼業を実現し、農業の後継者不足への解消、エンジニアの第1次産業への参入)

総括

南相馬に移住して、防災アプリの事業展開をしつつ、まちのIT屋さんとしても活動しております。

➢パソコン・スマホ教室

➢マルシェ(東電主催のマルシェなど)

➢販売・営業代行➢公式LINEアカウントの開設・運用(南相馬市農政課より依頼)

➢ホームページ制作(宮城県の建設会社、ロボットテストフィールドの企業など)

➢その他(書類作成代行、企画書作成代行、事業企画(街おこしイベントも企画実績あり)、管理系代行など)

ジャンル問わず、お困りごとありましたら、経営者・創業者の観点で色々出来るかと思えます。

